

2016
海外研修報告書
United States of America



TOPRISE



海外研修報告書

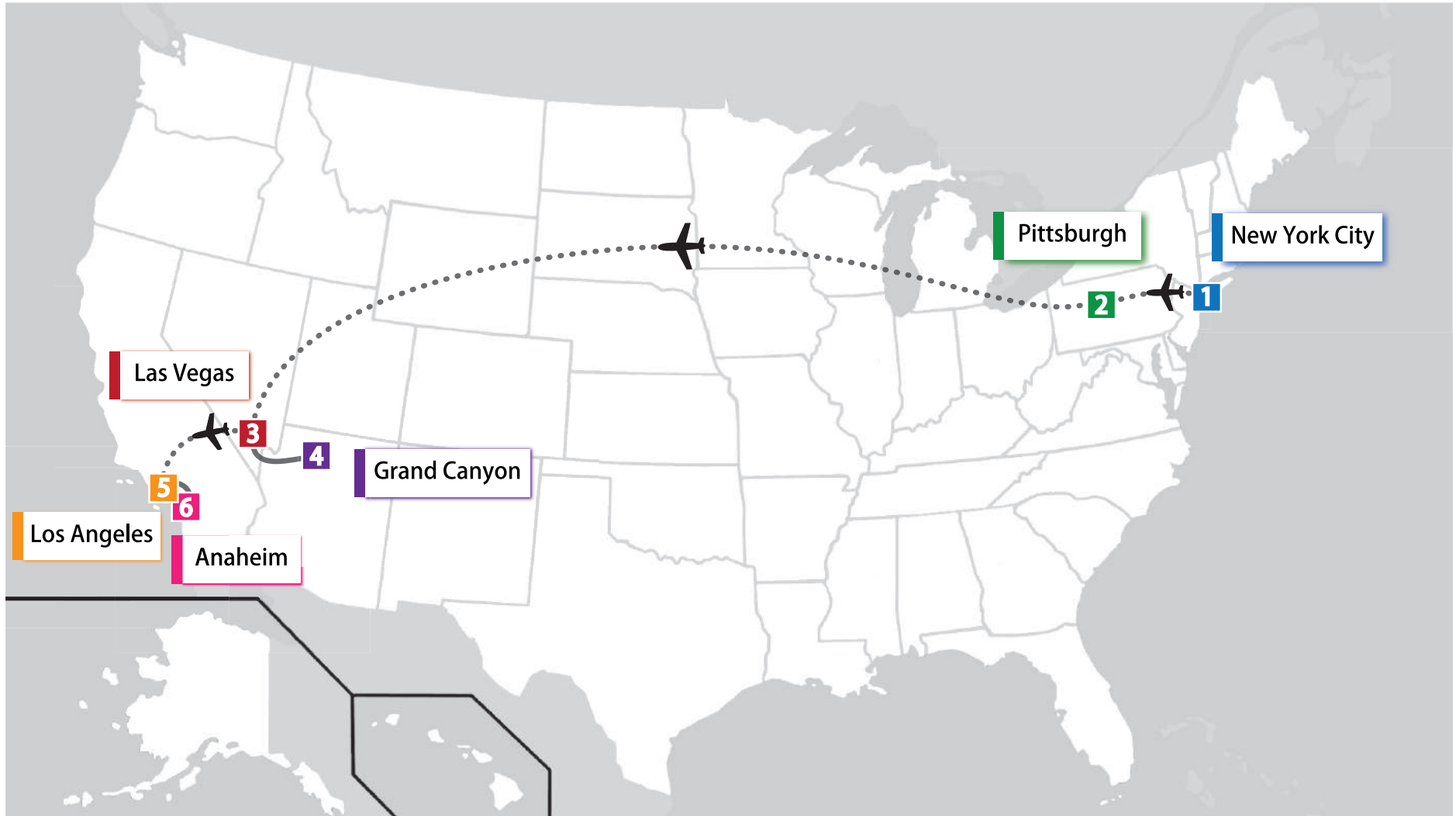
以下のとおり研修の報告を致します。

記

- ・ 研修参加者 飯塚 一成(リーダー) ・ 家塚 和樹 ・ 大貫 雅弥 ・ 行田 晃子 ・ 狩野 江身
- ・ 研修日時 平成 28 年 2 月 3 日～平成 28 年 2 月 13 日
- ・ 研修日程
 - 1 日目 新潟～成田
 - 2 日目 成田～NewYork
 - 3 日目 NewYork
 - 4 日目 NewYork～Pittsburgh
 - 5 日目 Pittsburgh～LasVegas
 - 6 日目 LasVegas～Grand Canyon
 - 7 日目 Grand Canyon～LasVegas～Los Angeles
 - 8 日目 Los Angeles～Anaheim
 - 9 日目 Anaheim～Los Angeles
 - 10 日目 Los Angeles～成田～新潟

※日程の詳細については別紙 1、2 を参照。

海外研修 軌跡図



2016年 アメリカ研修日程表

月日	都市名	交通機関	発着時間	内 容
① 2/3 (水)	新 潟 発 成 田 空 港 着	公 共 交 通 機 関	午後 夜	成田空港へ移動 【成田空港泊】
① 2/4 (木)	成田空港ホテル発 成 田 空 港 着 成 田 空 港 発 ニューヨーク空港着 ニ ュ ー ヨ ー ク	シャトルバス J L 0 0 6 公 共 交 通 機 関 地 下 鉄	08:50 09:00 11:00 09:55 午後	ホテルシャトルバスで成田空港へ 到着後、航空会社へチェックイン手続き 空路、アメリカのニューヨークへ —— 日付変更線通過 —— ニューヨーク到着後、入国審査・税関検査 大坪会長との面会 & ニューヨーク見学 ※男性：事務所、女性：事務所付近のホテル泊 【ニューヨーク泊】
② 2/5 (金)	ニ ュ ー ヨ ー ク	公 共 交 通 機 関 地 下 鉄	終日	ニューヨーク見学 ※男性：事務所、女性：事務所付近のホテル泊 【ニューヨーク泊】
③ 2/6 (土)	ニ ュ ー ヨ ー ク ニューヨーク空港発 ピッツバーグ空港着 ピ ッ ツ バ ー グ	公 共 交 通 機 関 U A 4 2 6 0 レ ン タ カ ー	午前 08:55 10:32 午後	ニューヨーク空港へ。空路、ピッツバーグへ ホテルにチェックイン 【ピッツバーグ泊】
④ 2/7 (日)	ピ ッ ツ バ ー グ ピッツバーグ空港発 ニューワーク空港着 ニューワーク空港発 ラスベガス空港着 ラ ス ベ ガ ス	レ ン タ カ ー U A 4 9 4 3 U A 0 2 4 3 レ ン タ カ ー	午前 15:29 16:58 17:45 20:41 夜	カーネギーメロン大学訪問 空路、アメリカ都市経由でラスベガスへ 到着後、レンタカーでホテルへ直行チェックイン 【ラスベガス泊】

月日	都市名	交通機関	発着時間	内 容
⑤ 2/8 (月)	ラスベガス グランドキャニオン	レンタカー	午前 午後 夕刻	グランドキャニオンまでドライブ (約6時間) ホテルにチェックイン 夕焼けのグランドキャニオン見学 【グランドキャニオン泊】
⑥ 2/9 (火)	グランドキャニオン ラスベガス空港発 ロサンゼルス空港着 ロサンゼルス	レンタカー U A 0 5 8 4 レンタカー	早朝 午前 19:40 21:03 夜	朝焼けのグランドキャニオン見学 朝食後、ラスベガスまでレンタカーにてドライブ (約6時間) 空路、ロサンゼルスへ 到着後、レンタカーでホテルへ直行チェックイン 【ロサンゼルス泊】
⑦ 2/10 (水)	ロサンゼルス アナハイム	レンタカー レンタカー	終日 夕刻	ロサンゼルス見学 アナハイムへ移動、レンタカー返却後、ホテルへチェックイン 【アナハイム泊】
⑧ 2/11 (木)	アナハイム	公共交通機関	終日	ディズニーランド見学 【アナハイム泊】
⑨ 2/12 (金)	アナハイム ロサンゼルス空港着 ロサンゼルス空港発	公共交通機関 J L 0 6 1	午前 10:00 12:05	ホテルを出発 空港到着後、航空会社へチェックイン 空路、帰国の途へ 【機内泊】
⑩ 2/13 (土)	成田空港着 成田空港発 新潟着		16:50 夕刻 夜	到着後、入国審査・税関手続き 新潟へ移動

研修報告 各担当者

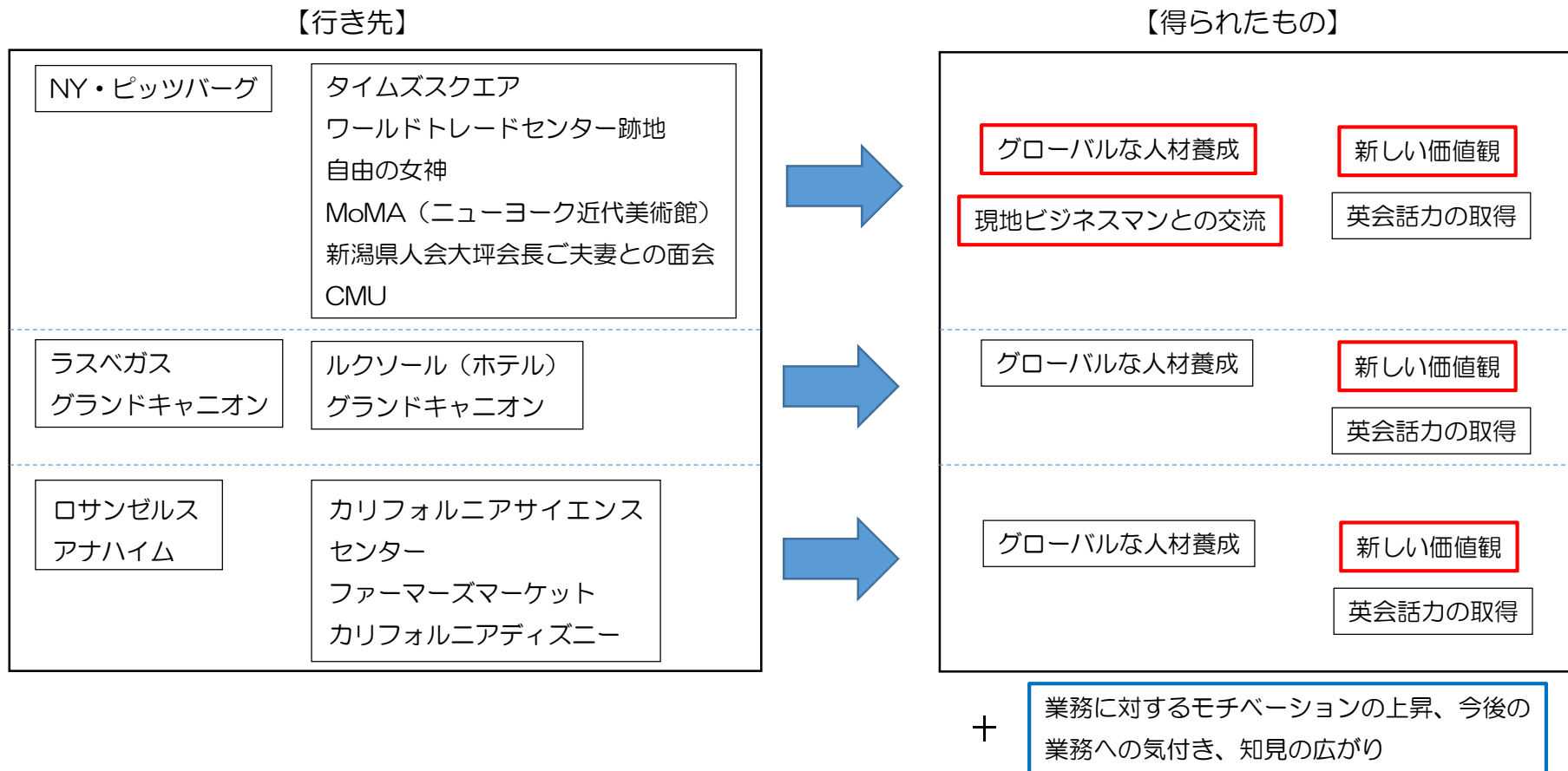
- ・ 2016 海外研修概要 … 飯塚 一成(リーダー) [技術本部 設計課 係員]
- ・ 海外研修実施内容
 - 1. NewYork … 家塚 和樹 [管理本部 総務部 主任]
 - 2. Pittsburgh … 大貫 雅弥 [技術本部 空間計測課 係員]
 - 3. LasVegas~Grand Canyon … 狩野 江身 ["]
 - 4. Los Angeles … 行田 晃子 ["]
 - 5. Anaheim … 大貫 雅弥 ["]
- ・ 海外研修(2月3~13日)に関わる決算について … 家塚 和樹 [管理本部 総務部 主任]
- ・ 海外研修 反省点および今後の課題 … 海外研修メンバー一同

2016 海外研修概要

本社における海外研修は今回で二回目となる。先回の研修の反省のもと自分達で行き先等のプランを考え実施した。

本研修では普段では体験できない非常に貴重な体験をしたと共に、想定し得ない問題も山積した。これらの経験は公私ともに今後の私達の糧となることと考える。

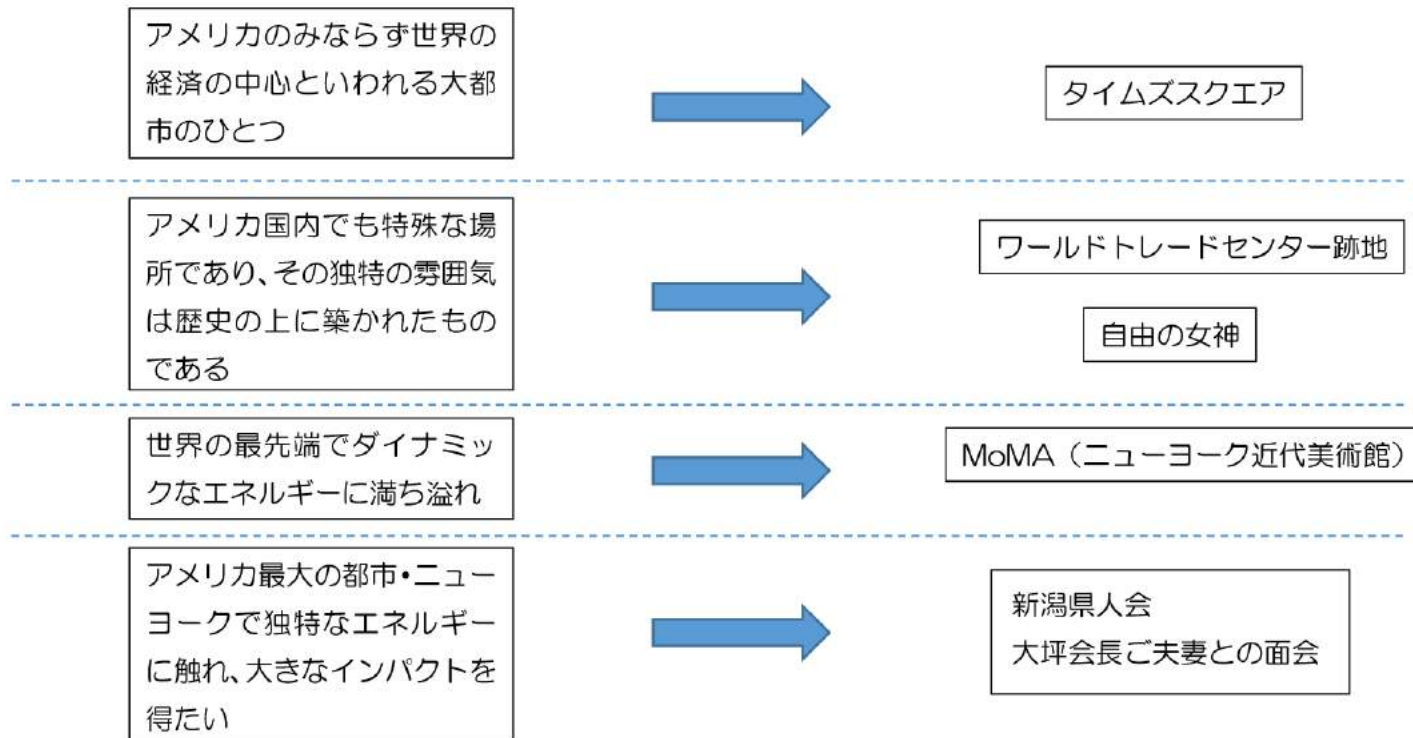
以下に行き先と海外研修規定に鑑みて得られたものを示す。



次項より、研修地別の成果を示す。

New York における研修内容に関して

1 研修の目的および実施内容



(20151017 海外研修案プレゼンテーション研修目的概略より抜粋)

(1) タイムズスクエア

“現代社会の豊かさ”を雄弁に語る場所は他にはなく、世界経済の中心地たるニューヨークの存在を鮮明に感じ取ることができた。



(2) ワールドトレードセンター跡地

ワールドトレードセンター跡地を訪れたことは、現在の世界情勢を読み解く上で重要であると共に、これから世界で起こるだろうことに想像力を働かせるのに役立つものになった。



one world trade center 付近の様子、Google Street View より

(3) 自由の女神

アメリカという国の国民性・文化性・社会性・規範性を理解していく上で、自由の女神を避けては通れない重要なモチーフであり、それを実際に生で見られたことは有意義な経験となった。



(4) MoMA (ニューヨーク近代美術館)

“世界最先端”のアート作品を鑑賞することができた。現在においては、デザインと営利的スピーチの同一性は一般的なものとなり、インターネットの登場を経て、ますます身近なものとなった。

当社においても、HP や SNS による情報発信を重要なツールとして位置づけており、その運用・管理をしていく上で、MoMA 所蔵の作品に触れられたことは良いモチベーションとなった。



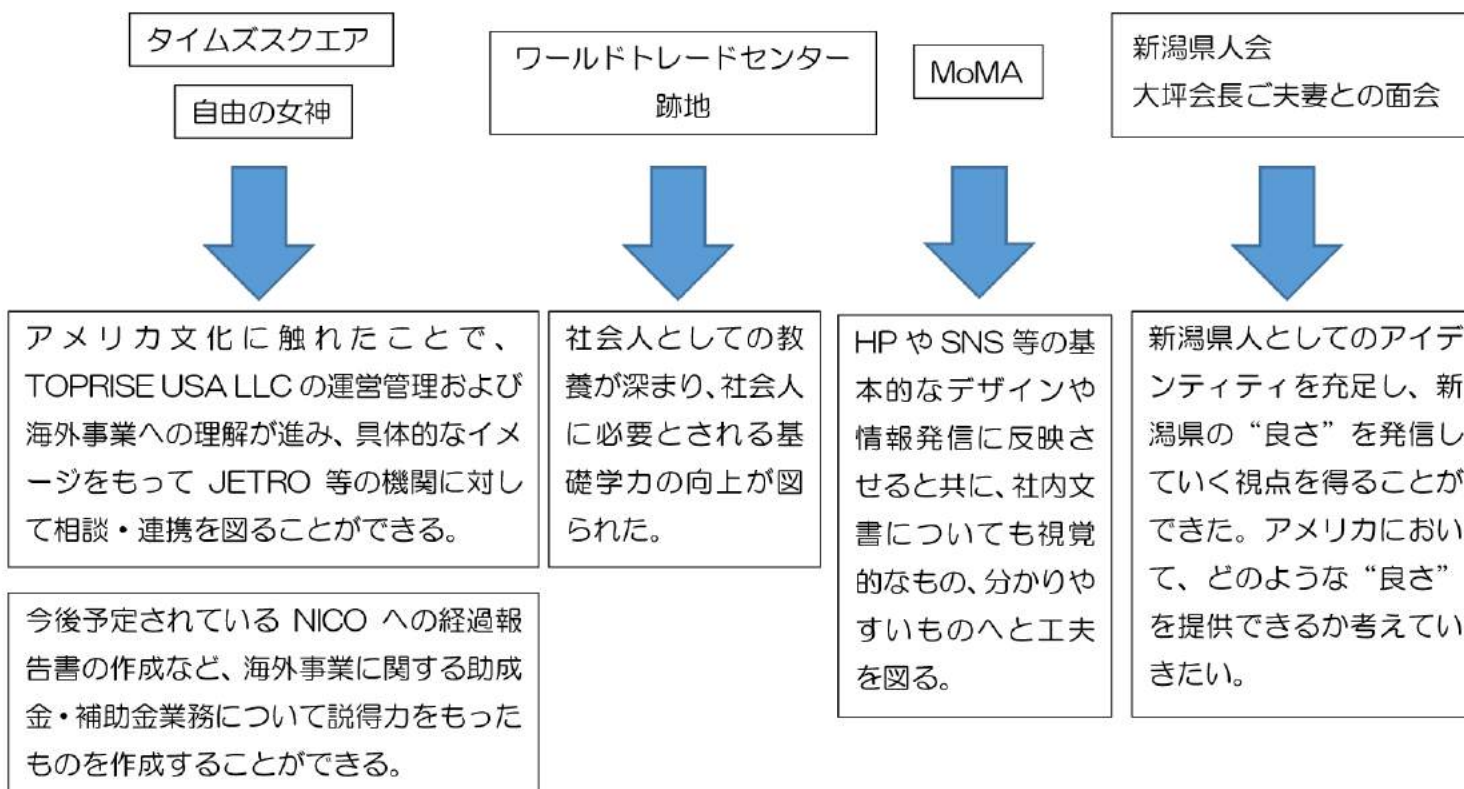
Campbell's Soup Cans, Andy Warhol

(5) 新潟県人会大坪会長ご夫妻との面会

大坪会長ご夫妻と面会し、会話を交わしていく中で、“日本のホスピタリティの優位性”と“新潟県人のバイタリティ”を再認識・再検討する契機となった。



2 研修における“気づき”および今後の業務への反映



(1) 海外事業に対して、今まで以上に“当事者意識”を持ち、積極的に取り組む。

*現地を視察できたことで苦手意識が軽減した。

人任せにせず、“自分にできること、やりたいこと、気づいたこと”を発信し、業務に取り組む。

(2) “英語”に対するモチベーションが高まったことを活かし、英語能力に係る自己啓発を図り、業務効率を高める。

*海外事業は未知の部分が多く、専門家に依頼せざるを得ない部分も多数あるものの、

ある程度の英語力があれば、自分たちで下調べできる部分も多数ある。

英語を用いた業務の効率化・短時間化を図ると共に、かしこく専門家を利用していく

ための下地をつくりたい。

以上

ピッツバーグ研修目的

- ・最先端の技術に触れ海外事業への理解を深める
- ・現地の文化、雰囲気学ぶ
- ・カーネギーメロンの大学生の話聞き知見を広げる



カーネギーメロン大学

- ・土曜日ということもあり、研究内容等の話を聞く事は出来なかったが大学構内にはクラブ活動等の為にやってきていた生徒もおり、僅かながら普段の様子を窺い知ることが出来た。



【クラブ活動に励む姿】

大学内の建築様式

- ・ 大学内は全く異なった、あらゆる年代様式で建築されていた。
- ・ 教会では天井絵や彫刻像が並び、とても美しいものだった。



- “Walking to the sky”
というタイトルのオブジェ
- INNOVATIVE (意: 斬新、革新的) に
向かっている姿を形にしたもの
- 常に未来を見据えて進んでいく
意識が感じ取れ、感心した。
また、歩みを止めたものは上る事が
出来ないという風にも受け取れる
オブジェだった。



まとめ

アメリカの歴史らしく、大学構内でも様々な国籍の生徒に出会った。

国籍も違えば価値観や考え方などは更に違う。

そのような、国籍が入り乱れる環境下というのは、固定観念や、周囲の言葉に捉われる事無く、新しい発想・人とは違う着眼点が生まれやすい場所であると私は考える。

社会一般のグローバル化がどんどん進んでいる今、日本を飛び出てその一部に触れる事が出来たことに感謝したい。

目次

はじめに

① 研修 ラスベガス

② 研修 ネバダ州からアリゾナ州へ

③ 研修 グランド・キャニオン国立公園

おわりに

研修目的

- 広大なアメリカへ行くなれば大都会と大自然、どちらも体感したい
- アメリカならではのスケールの世界遺産の絶景を見たい
- 壮大な歴史と自然の神秘を体感したい
- 朝夕の神々しい瞬間を見て感じ、さらなる意欲を得たい
- 圧倒的な大自然の姿と対峙して何を感じるだろうか



アリゾナ州北部、コロラド川が途方もない歳月をかけて造り出した大峡谷

グランド・キャニオン国立公園
Grand Canyon National Park

① 研修 ラスベガス

グランド・キャニオンの玄関口

マッカラン空港の到着口を出るとすぐ目に飛び込んでくるスロットマシンに始まり、いたるところにスロットが設置されている。ホテルへ向かいながら見た景色は、巨大なホテルときらびやかなネオンで、パレードを眺めるような楽しさがあった。

● 古代エジプトをテーマにしたホテル 『ルクソール』

建物自体がアトラクション、と言ってもいいほど凝った造り。ピラミッド型の内部は巨大な吹抜けで柱がなく、エレベーターが斜めに昇降することに驚いた。荘厳な雰囲気気分を高めてくれる。24時間営業のカジノ以外にも、展示やショーなどが開催されていた。



① 研修 ラスベガス

カジノ集客のための創意工夫

- 各ホテルがテーマパーク型で、多彩な外観
- 一軒ごとが莫大な敷地で、スパやプールを完備
- ゴージャスなショーを連夜無料で開催
- サーカス、シルクドソレイユ、ライブの誘致
- ショッピングセンター、ろう人形館、アミューズメントなどが豊富



ラスベガスは、カジノのみならず **エンターテインメントの本場** である

ストレートで豪快、なんでもあり、というのがアメリカ流。アメリカの国民性や文化性、社会性が垣間見えた。エンターテインメントにかかる創意工夫は、日本人にはない発想だと思う。カジノの収益よりも、『如何にすべての人々を楽しませるか』を重視しているような、一流のエンターテインメント性を感じとることができた。

② 研修 ネバダ州からアリゾナ州へ

人工的な俗世界から大自然へ出発



片道 およそ **450 km**

- ひたすらまっすぐな道路
- どこまでも砂漠地帯と岩山
- 大きなトレーラー

日本では見たことのないスケールの
景色に見飽きることがなかった。

② 研修 ネバダ州からアリゾナ州へ

国内移動時の時差 – アメリカのタイムゾーン –

ラスベガス（ネバダ州）	太平洋時間
グランド・キャニオン（アリゾナ州）	山岳部時間



各時差は **1 時間** ずつ

タイムゾーンをまたぎ、アメリカの国土の広大さを実感した。

国内の移動時は、最大 3 時間の時差が生じるため、注意が必要。

③ 研修 | グランド・キャニオン国立公園

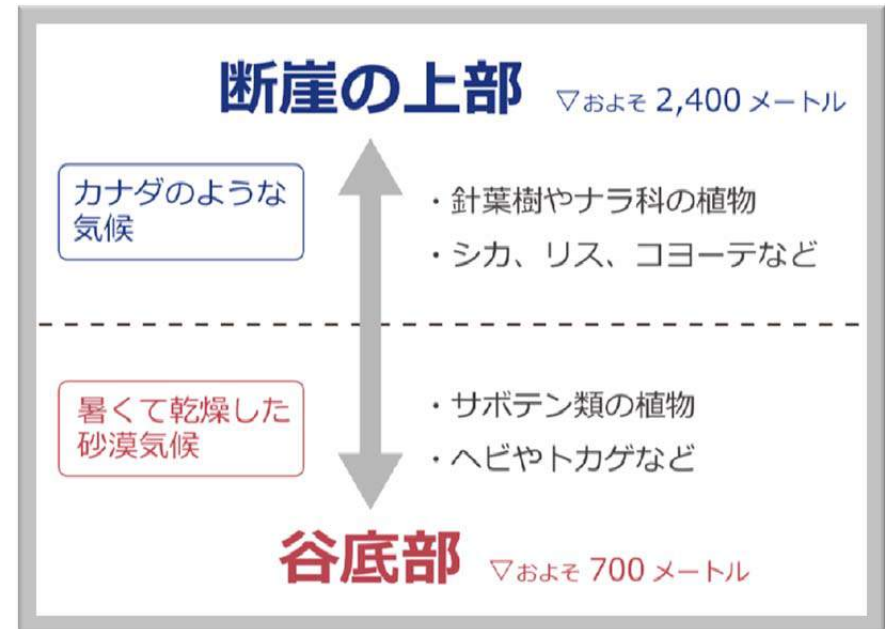
多様な気候帯と生態系

世界遺産に登録された理由のひとつが生態系である。高低差の中に、4つの異なる気候帯が存在し、各気候帯に適した生態系がある。大勢の旅行者が景色を眺めるだけでなく、トレッキングを楽しむ理由もよく解る。

●ヤバパイロッジ

我々が訪れたのは、断崖上部の針葉樹林帯のロッジと展望台である。朝、数匹の野生のシカと遭遇して遠目で観察した。

生態系を壊さぬよう、皆がマナーを守り、残っている大自然を後世に残して欲しい、と願う。



日の入り ☀ 18:03 マーサーポイント



● 大地の彫刻

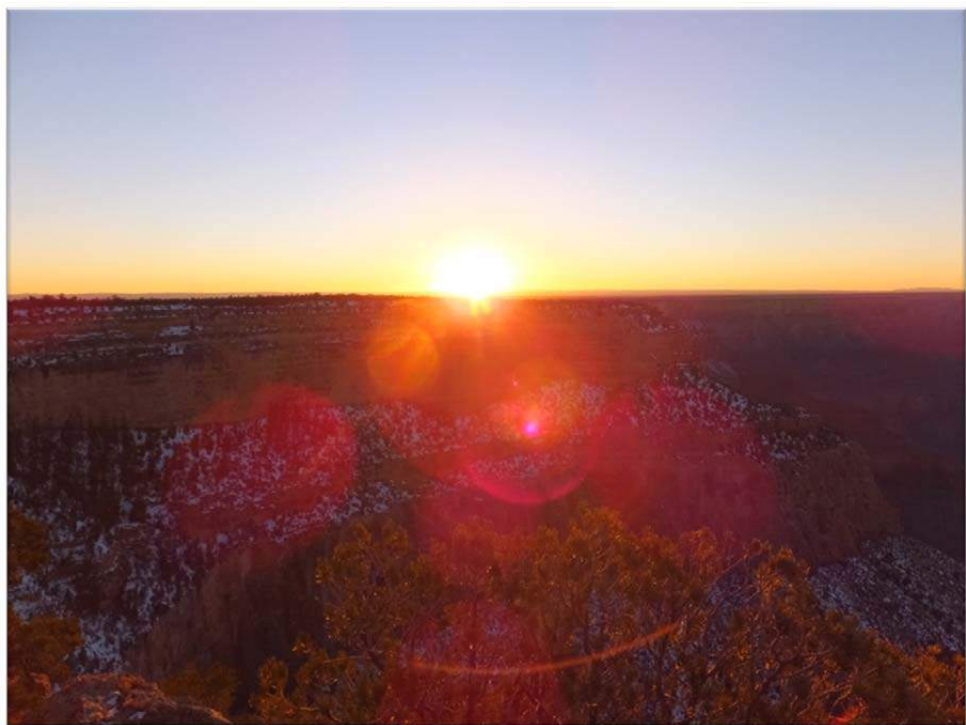
途方もない歳月をかけ、厳しい自然環境が造り出した造形美は、今も形を変え続けている。川が台地を削るといのは特別な現象ではないが、ここまで深く浸食したというのは容易に信じがたく、凝然と見入った。



● 地球の歴史

谷底部の地層は、およそ 20 億年前、頂上部は、およそ 2 億 5 千万年前の堆積層である。岩壁の至るところに化石が露出し、各時代の地球環境や生命進化の過程を地層で見ることができる。

日の出 ☀ 7:25 ホピポイント



● 特別な景色

氷点下の朝、日の出を待つ。太陽の光は、瞬時に直視できないほど輝きを増していった。しばらくとどまり、太陽の光に照らされた岩の色が刻々と変わる時間を堪能した。



● モルゲンロート

「モルゲンロート」は、登山用語として知られ、朝日が山肌を照らす朝焼けを意味する。神秘的な朝を迎え、清々しい空気があたらしいはじまりを予感を感じとることができた。

ラスベガス

アメリカにおけるエンターテインメントの隆盛・発展には、多民族国家という背景がある。すべての人々が楽しめるエンターテインメントを追求し、異文化の融合を繰り返して、普遍性と独創性を兼ねそろえたエンターテインメントが実現されている。

ラスベガスを訪れたことは、想像力と創造力を鍛えるための参考となり、「**自己表現するスキルと感性を磨いて、積極的に行動していきたい**」という自分の中の二ーズを再認識するきっかけとなった。

我々が目指すグローバル化は、語学力だけでなく、コミュニケーション能力や有意義な人間関係を構築するスキルなども不可欠だと感じ取ることができた。過去の経験にとらわれず、**本研修で得た経験をもとに創意工夫をし、アイデアやイメージを実行していきたい。**

グランド・キャニオン国立公園

アメリカは、合衆国となってからは歴史の浅い国であるが、アメリカこそ、自然界の歴史、地球の歴史の深さを肌で感じられる国といえるだろう。我々も東から西へ横断し、**地球の歴史の1ページをみるようなひとときを体感**することができた。

明らかなことではあるが、写真などで見聞きした情報だけでは計り知れない価値がある。壮大な大自然と対峙し、改めて、人間も自然の一部なのだと感じ、**今の自分の考え方や価値観と向き合うきっかけとなる経験**になった。

未知の世界を知って教養を深めて湧き上がった探究心や気づきは、**さらなる意欲に繋がり、ここから先のモチベーション維持の土台**となった。

ロサンゼルス研修内容

■ロサンゼルス研修目的

■カリフォルニアサイエンスセンター

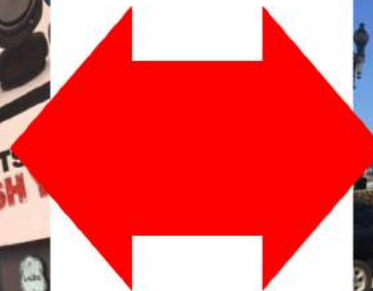
■ファーマーズマーケット

■まとめ



■ロサンゼルス研修目的

- ・ アメリカを代表する2大都市、ニューヨークとの比較
- ・ 人類の発明品の数々を見学し、今後の技術開発の参考に
 - ▶▶カリフォルニアサイエンスセンター
- ・ 異国の文化や習慣を知る ▶▶ファーマーズマーケット



■ カリフォルニアサイエンスセンター

- ・ 科学や宇宙、環境のほか、身近な題材を『科学』という視点で捉えた博物館
- ・ 見るだけでなく、触れたり、作ったり 体験を通じて学べる
- ・ 子どもだけでなく大人でも時間を忘れて楽しめるような展示がたくさん



4つの常設展

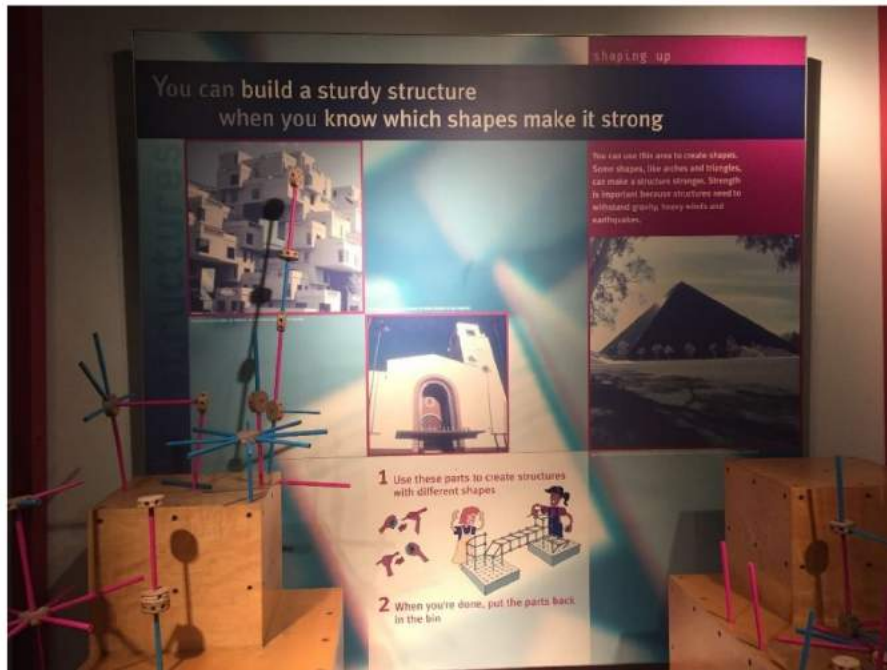
特別展

3D 映画館 IMAX

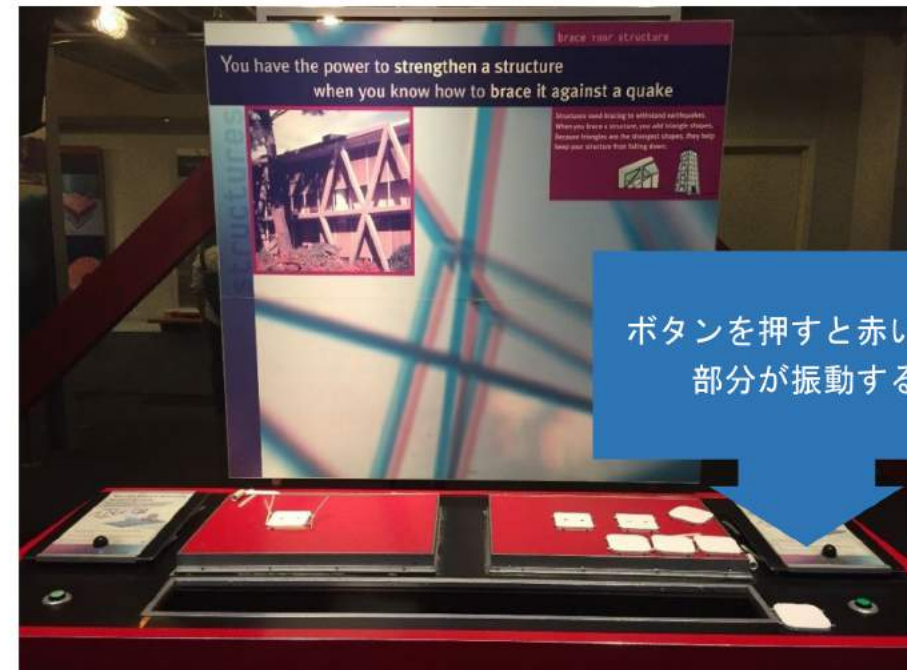
スペースシャトルエンデバー

Creative World

発明と革新の恩恵と結果を目の当たりにすることができる



建物の構造の仕組みについて学べる



建物の耐震性について学べる



回っているローラーを、3つの素材の中で、どれが一番早く止めることができるか

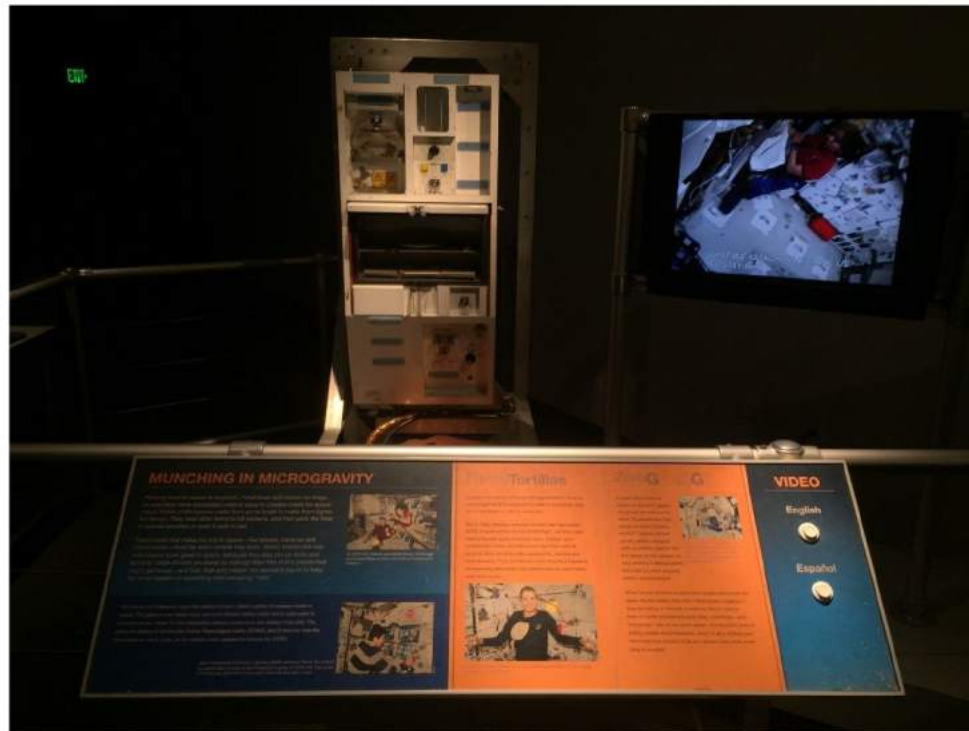
ボタンを押すと、その素材の『強度・費用・重さ』がどのくらいなのか上部の画面に表示される

様々な素材の性質を学べる



Air and Space

航空機や宇宙船のユニークなコレクションと体験型展示を見学できる



宇宙食専用の加温器



STS-99



STS-99 crew: (from L-R, front) Japan's National Space Development Agency Mission Specialist Mamoru Mohri, European Space Agency Mission Specialist Gerhard H.J. Thiele, (from L-R, back) Mission Specialist Janice E. Voss, Commander Kevin R. Kregel, Pilot Dominic L. Pudwill Gorie, and Mission Specialist Janet L. Kavandi

Mission:

Shuttle Radar Topography Mission (SRTM) – collected digital elevation data to map over 47 million miles of land on Earth

Launched:

February 11, 2000

Landed:

February 22, 2000

Landing site:

Kennedy Space Center, FL



エンデバー号に
日本人科学者として、
初めて搭乗した毛利衛さん

- ・ 世界で活躍している日本人の記録を見ることができた
- ▶▶ 日本の技術や人が世界にも認められていることを再認識

スペースシャトル エンデバー

本物のスペースシャトルの見学ができ、作られた工程・歴史などを学べる



- ・ 入った瞬間からその存在感に圧倒される
- ・ よく見るとところどころ傷んでいて、改修や補強を重ねたあとがみられた
→それは、約 20 年間に渡り地球と宇宙を行き来してくれた証

ファーマーズマーケット



- ・ 地元の人にも人気のマーケットで、多くの人で賑わっていた
 - ・ マーケット全体が色鮮やかで、いるだけで明るくなるような空間
- ▶▶ロサンゼルスの人たちの陽気な人柄が表れていると感じた



- テラス席が多く並び、お店の入口も常に開けっ放しの開放的な空間
- 街の人々の歩く速さや、暮らしぶりも緩やか
- ▶▶ロサンゼルスならではの文化や習慣に触れることができた

ニューヨークとロサンゼルスと比較



高層ビルが建ち並ぶ

近代都市の象徴

経済の中心

刺激的な街並み



建物が全体的に低い

街全体が色鮮やか

陽気で緩やかな街並み

親しみやすい雰囲気

まとめ 1

カリフォルニアサイエンスセンター

科学を中心に普段身近に感じる疑問や不思議、建物の構造や耐震性などの業務に関わることまで、実際に体験し学ぶことで、基本的な部分を振り返ることができた。また、子供の目線に立って学ぶことで、夢中になって何かを学ぶ楽しさやもっと知りたいという気持ちの大切さを改めて教えてもらった。

世界規模の科学や技術を間近で見学できたことは大変貴重な経験であり、これから先、わが社の技術開発のための想像力を働かせるのに大きく役立つものとなった。

まとめ 2

ファーマーズマーケット

街並みも人の気質も全く正反対であるのに、アメリカの二大都市としてニューヨークと肩を並べているのは、ロサンゼルスに合ったスタイルをちゃんと理解し、アピールできていることも大きく関係しているのではないかと感じた。

また、ロサンゼルスならではの文化や習慣に触れるができ、今までの自分の考え方や価値観とはまた少し違ったところから物事を捉えることができた。それは、海外事業に向けての理解へと繋がる経験になったと思う。

海外研修9日目

カリフォルニア州アナハイム

ディズニーランド



● 研修の目的

ディズニー独特の
センスに触れる



・デザインセンス向上



・物の魅せ方が分かる

3DPMの
高い技術力を見る



・想像・表現力の強化
・関心を抱く



・新たな発想を生む
・意欲的な活動

英語圏で楽しむ事



語学力の向上



・自信が付く
・知識力向上

● 体験したアトラクション



カリフォルニア
アドベンチャー



● ディズニーの世界へ

- ・ 60周年を記念した花壇が目に入る
- ・ テーマや季節に合わせた演出で、瞬く間にディズニーの世界に惹きこまれる



● ディズニーの世界へ

- ・ キャストとゲストの心理的な距離の近さ
- ・ 非日常を構成する演出



● 眠れる森の美女の城

【ディズニーの眠れる森の美女の城】



【モデルとなったノイシュヴァンシュタイン城】



<http://trip-hunter.s3.amazonaws.com>

- ・ 城を低く作る事で親しみやすさを演出
- ・ 色の持つ色彩効果を利用 ⇒ ピンク→幸福感・安心感
水色 →平和・信頼感

⇒日本とは違う色使いを見る事で視覚的創造力を養うことが出来た

⇒色彩のもつ効果を実際に体感し、学ぶ事が出来た

● 3D プロジェクションマッピング

- ・ カリフォルニアのパーク内では多くのマッピング映像が見られた
 - ・ アニメーションが豊富で雰囲気とマッチしたものが作り出せる
- ⇒人形が動いているのだと思える程の高い技術力を見る事が出来た



<http://tdrnavi.jp/park/dl/attraction/682/>

● ワールド・オブ・カラー - セレブレイト

- ・ 60周年を迎えたディズニーはメインショーである《ワールドオブカラー》を
《ワールドオブカラー - セレブレイト》と題した全く新しいショーにリニューアル



● ワールド・オブ・カラー - セレブレイト

⇒構成の規模の大きさに圧倒された。

⇒“ディズニーランドに完成はない。進化し続ける”という、ウォルトディズニーの言葉
に良いモチベーションを受けた。



● まとめ

- ・ カリフォルニアのディズニーに来て、改めて異国語の発音の難しさを痛感したと同時に習得への意欲が沸いた。

- ・ 新しい技術ばかりを使っていれば良いというものではないのだと思った。

3D映像は新しい技術だけれど、それを使用する対象は、建物であったり噴水であったりと昔からあった古いものである。

今あるものを上手く生かしていく柔軟さも大事なのだと感じた。

以上、研修で得られた知見を踏まえ、良い仕事を目指していきたい意向である。



ありがとうございました

家塚 和樹
飯塚 一成
大貫 雅弥
行田 晃子
狩野 江身